

わが家のアイドル



知念 神善人ちゃん (11 カ月)
毎日、元気いっぱい過ごしている男の子です。



高橋 悠真ちゃん (5 カ月)
可愛くて仕方ない



井田 尊琉ちゃん (2 カ月)
よく泣き、よく食べ、よく笑い。元気いっぱいに育ってね



梶原 郁人ちゃん (3 カ月)
いつもニコニコ♪これからも笑顔いっぱいに育ってね！

みんなの広場

宛先

住所・氏名(ふりがな)・電話番号	584-8511
富田林市役所都市魅力課	常盤町1番1号

わが家のアイドル (対象年齢は4歳未満、兄弟・姉妹と一緒に写っている写真でも可) は、写真に、メッセージ (20 字程度) を添え、住所、保護者と子どもの名前 (ふりがな)、撮影時の

年齢 (月齢)、電話番号を記入し、封書で左上記の宛先まで応募してください。

また、市ウェブサイトからでもご応募いただけます (右図のQRコードから応募ページにアクセスできます)。

なお、今応募された場合、掲載は約6カ月後になります。



寿

100 歳おめでとうございます



短歌

地層 島村 さゆり選

秀歌

吹く風に揺れて手招く猫柳先ゆく雲のあと追ひかけて
錦織南 山中 哲夫

《選評》猫柳を擬人化して、見た情景を絵画のように詠われて成功している。リズムもいい。只初句「吹く風に」が平凡なので、例えば秋風にとか、夕風、朝風、そのフレーズに特徴を持たせれば尚よかったかと思う。

初曾孫秋には生れると知らせあり啓蟄の朝夫と聞きたり 彼方 西尾 たみ子
先に混ぜあとからタレだ納豆は妻に抗ふわれのこだはり 山手町 笹原 秀計
バイアスのかかりし四季は過ぎ逝きて出口の見えぬ再びの春 楠風台 正木 浩
着古しの紺のスーツを手に取りて青春の日々ひととき繰る 錦織南 島田 美保子
寝転べば満天の星つかめそう亡夫に会える静寂の山 梅の里 久多里 スマ子
世界中コロナで疲弊慰めの自然のパワー百花繚乱 錦ヶ丘町 松島 きよみ
乗り手なきブランコゆらりひとひらの花びら載せて漕がれていたり 選者 詠

※俳句のコーナーは、都合によりしばらくの間、休ませていただきます。

川柳・短歌は、それぞれ別のはがきで応募してください (1人各5点まで)。市内在住の人で未発表のものに限ります。作品の漢字や氏名には必ずフリガナをつけてください。
7月号の「川柳」(宿題「駅」)は5月31日(月)、8月号の「短歌」は6月30日(水)までに応募(いずれも必着)してください。宛先は上記をご覧ください。

わたしのまちの文化財

江戸時代のワクチン接種

◆流行を繰り返してきた天然痘

感染力が強く、死に至る病として世界中で恐れられた天然痘は、日本でも奈良時代以降、何度となく流行を繰り返してきました。

仲村家文書（市指定文化財）の「年中録」には、嘉永元年（1848年）前半に、富田林を含む地域で天然痘が大流行し、多くの子供が亡くなったことが記されています。

安政2年（1855年）2月、仲村家に男の子が誕生しました。後に富田林村初代村長となる時之助です。翌年2月、満1歳の誕生日を迎える直前、父、信道は時之助に、道明寺村の漢方医、上田 元厚の元で種痘（天然痘ワクチンの接種）を受けさせました。これは、この地域における種痘としては最も早い例です。

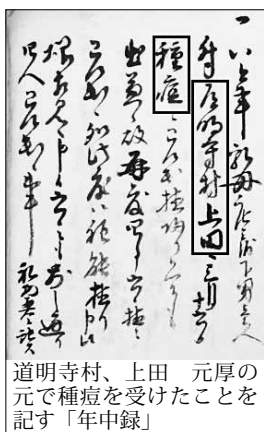
◆天然痘ワクチンの普及

イギリスの医師、ジェンナーによって18世紀末に開発された天然痘ワクチンが日本に伝わり、大坂では嘉永2年11月、緒方 洪庵らによって除痘館が開設されましたが、種痘が

一般に普及するのはまだ先のことでした。種痘が南河内に普及していくのは慶応3年（1867年）後半のことです。

安政5年3月と4月には、前年5月に生まれた時之助の妹の節も同じく、上田さんの元で種痘を受けています。現代では特定の病気にに対する予防手段として、ワクチン接種はごく一般的ですが、当時の人々にとっては未知のものであり、迷信や恐怖が付きまといました。

しかし、天然痘に対する恐怖はそれに勝るものでした。信道自身も6人の兄弟姉妹のうち3人が幼少期に天然痘にかかり、その恐ろしさが身に染みていたからこそ、満1歳になるかならないかの幼い我が子に種痘を受けさせたのでしよう。



◆天然痘の根絶宣言

明治以降、国をあげて種痘の普及が進められました。1980年5月、WHO（世界保健機関）により天然痘の根絶宣言が出されました。

文化財課（内線432）

夢のかけ橋 ～奨学金について～

高校および大学進学にあたり、進学意欲を有しながら経済的な理由により、就学を断念せざるをえないような状況をつくらないために、さまざまな奨学金制度があります。

主な補助金、奨学金制度の一部を次に紹介します。

●高等学校等就学支援金（国の制度、返済不要）

年収およそ910万円未満の世帯に対し、「就学支援金」が支給されます。これにより、国公立高校生は実質授業料無償となります。

●高等学校等授業料支援補助金（府の制度、返済不要）

私立高校生などに対する府の授業料支援補助金です。年収目安590万円未満世帯は無償、年収目安590万円以上800万円未満世帯は、子ども一人世帯で年額20万円負担、子ども二人世帯で10万円負担となるなど、世帯収入と子どもの人数によって補助金の交付額が変わります。

※詳しくは、府ウェブサイト[<http://www.pref.osaka.lg.jp/shigaku/shigakumushouka/index.html>]をご覧ください。

明日をめざして

●府育英会奨学資金・入学時増額奨学資金（返済必要）

中学3年生を対象に9月初旬から10月上旬にかけて、奨学資金・入学時増額奨学資金などに関する予約申請が始まります。申請は在籍する中学校を通して行います。

■入学時増額奨学資金

進学する学校	貸付限度額
国公立学校	5万円まで
私立学校	25万円まで

■奨学資金

年収の目安	貸付限度額
国公立・私立学校とも800万円未満	授業料実質負担額+その他教育費（上限10万円）の範囲内で希望する額
私立学校のみ800万円以上1000万円未満	授業料の実質負担額の範囲内で希望する額（上限24万円）

●日本学生支援機構奨学金（貸与型は要返済）

「給付型」と「貸与型」の2種類があります。希望する条件によっては、年度の早い時期に締め切りがあります。

※詳しくは、在籍する高等学校に問い合わせいただくか、(独)日本学生支援機構ホームページ[<https://www.jasso.go.jp/>]をご覧ください。

教育指導室（内線363、364）